

令和7年度 第2回都島区区政会議 会議録

1 日時 令和7年9月11日（木）午後7時～午後8時30分

2 場所 都島区役所 3階会議室

3 出席者

（区政会議委員）

浦出委員・江川委員・岡本委員・屋宮委員・下影委員・高野委員・谷委員・西委員・花田委員
菱池委員

（都島区役所）

藤岡区長・伊藤副区長・三井総務課長・西山政策企画担当課長・鹿倉政策企画担当課長・松井
まちづくり推進課長・中尾防災地域活性担当課長・世古口窓口サービス課長・田村保健福祉課
長・清原こども教育担当課長・藤本生活支援担当課長

4 議題

- （1）都島区将来ビジョン 2030（素案）について
- （2）区政会議の意見を踏まえた取組例

5 会議次第

- （1）開会（藤岡区長挨拶）
- （2）議事

【三井課長】

委員の皆様には、お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

定刻となりましたので、これより令和7年度第2回都島区区政会議を始めさせていただきます。

私は、本日、司会を務めさせていただきます総務課長の三井でございます。どうぞよろしくお願いいたしますします。

それでは初めに、区長の藤岡よりご挨拶させていただきます。

【藤岡区長】

皆様、こんばんは。藤岡でございます。

平素より、市政、区政、各般にわたりまして、ご理解、そして温かいご支援を賜りまして誠にありがとうございます。本日は、大変お忙しい中、区政会議にご参加いただきましてありがとうございます。また、議員の皆様におかれまして、大変お忙しい中、オブザーバーとしてご参加いただいておりますこと、重ねてお礼申し上げます。

さて、本日の区政会議でございますけれども、都島区将来ビジョン2030（素案）について、皆様にご議論いただきたいと思います。都島区将来ビジョン2030は、これまでに策定したビジョンを踏まえまして、それらの施策をさらに前進させるために、令和8年度からの5年間でめざすべき将来像と取組の方向性についてまとめたものでございます。今年度末には将来ビジョン2030を取りまとめまして、ビジョンに沿って、「安全・安心のまち、人がつながり・いきいきと暮らせるまち、子どもが輝くまち、明日に誇れるまち」の実現に向けまして、区民の皆様と共に区役所職員一丸となって取り組んでまいりたいと思っております。

前回の第1回区政会議におきましては、ビジョンの骨子案をご説明させていただきましたが、今回は素案の形にいたしましたので、委員の皆様には、区役所の職員だけでは気づかない点や、ここをもっと充実させたほうがよいといったご意見、ご提案をぜひ頂戴できればと考えております。

委員の皆様からいただくご意見は、今後の区政運営をよりよいものにするための大切な指針となってまいります。本日も限られた時間ではございますけれども、委員の皆様の広く闊達なご意見を賜り、実りある時間にしたいと存じます。

本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

【三井課長】

ここで、委員の皆様には、会議の進行につきましてお願いがございます。

議事録等の作成のため、事務局で会議の様子を録音、撮影させていただいております。また、本日の会議はインターネット配信を行っております。以上、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

それでは、定足数の確認をさせていただきます。本日の会議には、委員定数18名のうち10名が出席さ

れておりますので、定足数を満たしておりますことをご報告いたします。

また、後藤委員、多田委員、山野委員、吉村委員、石川委員、高橋委員、尾柳委員、藪上委員におかれましては、本日ご欠席のご連絡をいただいておりますので、ご報告させていただきます。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。

事前にお送りしておりました資料として、右肩に資料1と記載しております都島区将来ビジョン2030（素案）、右肩に資料2と記載しております区政会議の意見を踏まえた取組例、その他資料として、区政会議に関するアンケート、全体会議分と参加いただいている部会ごとに各部会のアンケートを机上配付しております。

こちらは、資料送付の際お送りしたものと一緒ですので、ご持参いただいている方はその持参いただいたものを、持参されていない方は机上のものをお使いいただきまして、会議後、出口で回収させていただきますと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上、本日の資料になりますけれども、そろっておりますでしょうか。不足がありましたらお配りいたしますので、挙手をお願いいたします。よろしいでしょうか。

続きまして、本日ご出席の議員の皆様をご紹介します。

大阪市会より、荒木議員でございます。

【荒木議員】

荒木です。よろしくお願いいたします。

【三井課長】

なお、大阪市会、岡田議員、大阪府議会、魚森議員におかれましては、本日、ご欠席のご連絡をいただいております。

また、大阪市会、大西議員におかれましては、遅れてのご出席とのご連絡をいただいておりますので、ご報告させていただきます。

それでは、これより高野議長に議事運営をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

【高野議長】

皆さん、こんばんは。

今回は、区政会議の委員の2年任期における最終の会議となりました。通常の闊達な意見、それからご感想におきまして、それに続いて、現委員の皆様におかれましては、この2年間ないし4年間委員を務められた方々に、議題2のところ、最後にコメントを一言ずつでもいいので、長くてもいいんですけども、いただきたいと思いますので、そのつもりで、ぜひご感想をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、本日の議題に入ります。議題1です。都島区将来ビジョン2030（素案）について、事務局か

ら資料1に沿って説明をいただきます。お願いします。

【西山課長】

委員の皆様、こんばんは。区政会議の事務局を担当させていただいております政策企画担当課長の西山でございます。どうぞよろしくお願いいたします。失礼ながら、座って進行させていただきます。

それでは、議題1、都島区将来ビジョン2030（素案）につきまして、配付資料1、都島区将来ビジョン2030（素案）よりご説明いたします。

前回、6月10日に開催をいたしました第1回区政会議におきまして、都島区将来ビジョン2030骨子案をご説明し、ご議論を賜ったところでございます。

今回、素案といたしまして、めざすべき将来像、それと取組の方向性などをご説明させていただきたいと存じます。

資料2ページをご覧ください。

都島区将来ビジョンにつきましては、区長が区内の基礎自治行政を総合的に推進していく上で、区のめざすべき将来像、そして、その実現に向けた施策展開の方向性などを取りまとめ、区民の皆様に明らかにするものでございます。区内の基礎自治行政を総合的に推進していくための羅針盤となるものでございまして、都島区のめざすべき将来像に向けた施策展開の方向性を明らかにすることを目的といたしております。

計画期間につきましては、中長期的な取組を進めるため、令和8年度、2026年度から令和12年度、2030年度の5年間といたしまして、施策展開の方向性などを取りまとめ、これを基に、毎年、将来ビジョンのアクションプランとして運営方針や予算等を編成してまいります。

3ページから少し飛びますが、10ページにつきましては、都島区の概要となっております。人口構成等々、記載をしてございます。概要となっておりますが、説明は省略をさせていただきますので、後ほど、ご一読賜りますようよろしくお願いいたします。

それでは、11ページをご覧ください。

都島区将来ビジョン2030では、「みんなで未来をひらくまち」をキャッチフレーズといたしまして、めざす将来の姿として、「安全・安心のまち、人がつながり・いきいきと暮らせるまち、子どもが輝くまち、明日に誇れるまち」の実現の4つの柱を掲げております。この4つの施策を柱といたしまして、それぞれの相互作用により、地域に根差した持続可能な発展をめざし、まちづくりを進めてまいります。

12ページをご覧ください。

これらの取組につきましては、SDGsの理念に基づいており、区の施策にSDGsの理念を取り入れますとともに、各局のSDGs関連施策とも連携しながら取組を進めております。また、区民の皆様、地域団体、企業、関係機関とも連携しながら取組を進め、未来に向けて持続可能な社会の実現をめざしてまいります。

す。

13ページをご覧ください。

めざすべき将来像といたしまして、1、安全・安心のまちにつきましては、1-1、全区民が災害の備えをし、助け合って避難行動できる状態。1-2、全区民が防犯を意識し、犯罪を抑止する環境が整っている状態。1-3、ごみのポイ捨てや放置自転車が減少し、環境に優しく、誰もが安全に通行ができる状態をめざしてまいります。

2、人がつながり・いきいきと暮らせるまちにつきましては、2-1、これまで培われてきた「つながり」や「きずな」を礎にしながら、あらゆる世代や地域活動等への参加・参画による「まなび」を通してつながりを育成し、持続的に地域コミュニティが活性している状態。2-2、地域に福祉の身近な相談窓口があり、地域住民がお互いに見守り活動を行うことにより、安心して生活できる状態。また、区民がいきいきと健康で生活することができる状態をめざしてまいります。

14ページをご覧ください。

子どもが輝くまちにつきましては、3-1、授乳や育児について相談しやすい環境が整い、育児不安が解消され、いきいきと健康に暮らせる状態。子どもや子育て世帯がライフステージに応じた支援を受けることで、子どもの笑顔が輝き、子育てに伴う喜びが実感できる状態。3-2、経済状況や家庭環境に左右されることなく、全ての子どもが将来の夢や目標を持ち、未来社会を担う人材が育成される状態をめざしてまいります。

4、明日に誇れるまちにつきましては、4-1、都島区の恵まれた自然環境、立地、歴史・文化、産業などの特色を生かした地域の活性化が図られ、まちのにぎわいと魅力が高まり、区民が誇りを持ち、住み続けたいと思うとともに、多くの人々が訪れたい、住みたいと思う状態。4-2、様々な媒体を通して、暮らしに関する情報や都島区の魅力を発信し、区内外に届けることで、区民や来街者等が関心を持ち、都市イメージの向上が図られている状態をめざしてまいります。

15ページから23ページにかけまして、4つの柱の各項目の現状と課題、めざす状態、取組の方向性を示しております。

15ページをご覧ください。

1、安全・安心のまちづくりの1-1、防災のまちづくりにつきましては、現状と課題におきましては、地域の助け合い、共助の構築を進めていく必要があります、災害時において、地域住民等による支え合いがある状態をめざすため、各種媒体での情報発信を通じて、自助・共助のさらなる意識の向上に取り組むとともに、防災訓練の支援や、地域資源の活用により、地域の防災力の向上に取り組んでまいります。

16ページをご覧ください。

1-2、防犯のまちづくりにつきましては、現状と課題においては、特殊詐欺等の被害件数が増加傾向に

あり、防犯を意識し、犯罪を抑止する環境が整っている状態をめざすため、青色防犯パトロールによる巡回や、積極的に出前講座を実施いたしますとともに、防犯カメラの設置や情報発信に取り組んでまいります。

17ページをご覧ください。

1-3、安全で美しいまちづくりにつきましては、現状と課題においては、放置自転車や路上喫煙等により、区民や来街者が不快感を抱いており、環境美化の意識が向上し、環境に優しく、誰もが安全に通行できる状態をめざすため、啓発活動の実施とともに、情報発信や市民協働により清掃活動の推進に取り組んでまいります。

18ページをご覧ください。

2、人がつながり・いきいきと暮らせるまちの2-1、コミュニティ豊かなまちにつきましては、現状と課題においては、人と人とのつながりの希薄化が進み、地域活動への参加意識が低下しているといったことから、より多くの住民参加による自律的な地域運営が進められている状態をめざすため、地域特性等に即したきめ細やかな支援を行い、地域活動参加を促進するとともに、自律的な地域運営の推進に取り組んでまいります。

19ページをご覧ください。

2-2、いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくりにつきましては、現状と課題においては、福祉課題の複雑化・多様化・深刻化により、地域で埋もれている要援護者に対する支援の必要性が大きくなってきており、地域に身近な相談窓口があり、見守り活動などにより安心して生活ができると感じられる状態をめざすため、福祉会館等に地域福祉コーディネーターを配置し、適切に関係機関につなぐとともに、見守り活動が自主的かつ円滑に進むよう、支援体制の整備に取り組んでまいります。

20ページをご覧ください。

3、子どもが輝くまちの3-1、安心して子育てできるまちづくりにつきましては、現状と課題においては、子育ての負担感や不安などを社会全体に頼るという意識が定着していないことや、出産・育児に関して相談できる者が少ないといったことから、子育て世帯への切れ目のない支援の提供や、育児等に関する不安が軽減され、子どもの安らかな成長・発達が促進される状態をめざすため、気軽に相談できる対面での相談や、子育て支援に関する情報発信を推進し、さまざまなライフスタイルに応じた支援体制や子育て相談体制の推進に取り組んでまいります。

21ページをご覧ください。

3-2、未来社会を担う人材育成につきましては、現状と課題においては、学びや遊びを通じた子どもの成長の機会が失われているといったことから、全ての子どもが生きる力を身につけ、将来の夢や目標を持ち、未来社会を担う人材が育成される状態をめざすため、学力・体力の向上支援や教育環境の整備を

行うとともに、子どもを支える環境を充実させ、子どもの成長の機会の確保に取り組んでまいります。

22ページをご覧ください。

4、明日に誇れるまちの4-1、にぎわいと魅力あるまちづくりにつきましては、現状と課題においては、区内外に向けたさらなる魅力創出・発信の取組が必要であることから、都島区の特色を生かした地域の活性化が図られ、まちのにぎわいと魅力が高まり、区民が誇りを持ち、住み続けたいと思うとともに、多くの人々が訪れたい、住みたいと思う状態をめざすため、イベント等により、地域資源等を生かした地域の活性化を図るとともに、北部、中部、南部のそれぞれの特色を生かした取組を行い、魅力を高め、京橋エリアにおいては、周辺の開発に合わせた取組を実施してまいります。

23ページをご覧ください。

4-2、区の魅力創出につきましては、現状と課題においては、情報の内容に応じて、ホームページやSNSの利用を高めることや、都島区の資源や魅力向上の取組についての情報発信が必要であることから、さまざまな媒体を通して都島区の魅力を発信し、区民や来街者が関心を持ち、都市イメージの向上が図られている状態をめざすため、多様な広報ツールを活用し、区内外向け、都島区に興味を持ってもらえるような情報発信やプロモーションを行ってまいります。

次に、24ページをご覧ください。

都島区将来ビジョン2030の実現に向けましては、協働によるまちづくり・官民連携の推進、DXの推進、区民サービスの向上が必要となっております。

協働によるまちづくり・官民連携の推進では、ビジョンに掲げる将来像の実現には、区民の皆様はもとより、地域団体、企業など、都島区のまちづくりに関わる方々との連携や協力が必要となってきます。

また、DXの推進では、DXを進め、行政サービス等を進化させ、区民一人一人がそれぞれの幸せを実感できる区政へと発展させてまいります。

また、区民サービスの向上では、身近な総合行政の窓口としての区役所機能・窓口サービスの充実を図り、区民の皆様のご意見やニーズを的確に把握し、施策・事業を展開してまいります。

なお、資料にはございませんが、本日の区政会議以降、12月頃を予定しております区政会議ではビジョン（案）の策定、来年3月頃の区政会議ではパブリックコメント等を経まして、将来ビジョン2030を策定してまいりたいと考えております。

説明は以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

【高野議長】

ありがとうございました。

ただいま、西山課長からご説明がありました、資料1に沿っての都島区将来ビジョン2030について、今のご説明ないしご意見、あるいはご感想等ございましたら、挙手にてお願いします。そのときには、イ

ンターネット中継もしておりますので、恐れ入りますが、お名前も一緒におっしゃった上で、ご意見、ご感想を述べていただければ幸いです。

それでは、何かご意見、ご質問等ありますでしょうか。

お願いいたします。花田委員、マイクを回します。

【花田委員】

公募委員の花田と申します。

2つの提案と1つの質問をさせていただきたいと思います。

まず1つ目なんですけれども、5ページに都島区の概要、今日は説明はなさっていませんけれども、北部と中部から南部と京橋地区と書いていらっしゃるんです。地図のイメージがあると、もっと分かりやすいのかなというのが1つご提案です。9ページに地図はあるんですけれども、地域の名前で書いておりまして、どこまでが北部なのか、中部から南部なのか、京橋なのかというのが、区民で長く住んでいる人はもちろん分かるんでしょうけれども、新しい区民の方とかは分かりにくいのかなと思いました。

2つ目なんですけれども、11ページのところです。

区政の基本理念として、「みんなで未来をひらくまち」という非常にすばらしいキーワードをお使いになっておられると思うんですけれども、そのご説明のところで、西山課長はくしくも、地域に根差した持続可能なまちづくりをとご説明なさったんですけれども、その持続可能なまちづくりとか、相互に補完し合いながらというところに、後ろにありました、市民協働の視点とか、区民の皆さんと共にとか、何かそういうような言葉が少しあると、より一層みんなでいうところが打ち出されるのではないかと思います。

提案は以上の2つです。

質問というか、これも少し提案ぎみになるかもしれないんですけれども、めざすべき将来像というのを書いておられまして、その後で詳しくご説明になるページで、めざす状態というところがあります。

これにつきましては、全く同じ表現を使っている項目もあるんですけれども、あえて変えていらっしゃるのかなと思うところもあって、もし、このめざす状態とめざすべき将来像のその将来像の状態を同じということにするのであれば、表現はそろえておかれるほうがいいのかなと思いましたので、そこは何かあえて変えていらっしゃる、その理由をお聞きしたいと思って質問いたします。

以上です。

【高野議長】

ありがとうございます。

それでは、今述べられました質問あるいはご提案について、この質問、ご提案に対してお答えしますという形で、部署が代わっても構いませんので、お答えいただければと思います。

それでは、西山課長よりお願いいたします。

【西山課長】

お答え申し上げます。

5ページにつきましては、地図があると分かりやすいといったところについては、また今後、案等を策定してまいりますので、その際に、地図が入れられるような形になるかどうかも含めて検討してまいりたいと存じます。

11ページのところの、もう少し具体的な表現とか、市民協働といった、後ほど出てくるといったことから、もう少し具体的に表現をしてはどうかといったところにつきましても、同様に、案策定に向けて検討してまいりたいと考えております。

あと、めざすべき将来像等、各項目のところの項目が似通っている、表現のところが一緒だということについては、皆様にご議論いただく、あるいは区民の皆さんにお示しするというところで、あまり表現がころころころころ変わっては、どのことを言っているのか分からなくなるので、あえて同じにしているところもありますし、もしかしたら私が質問の認識を捉え間違えているかもしれませんが、そういった観点で記載しているところでございます。

【高野議長】

再びマイクを花田委員にお返しします。

【花田委員】

伝え方がまずくて申し訳ありません。

基本的には私は同じであるべきだと、役所的な感覚からしたら思っているんです。あえて変えていらっしゃるのは何でしょうかということでお聞きしたつもりです。

もう一つは、11ページは詳しく書いてほしいという意味ではなくて、みんなでというせっかくいいキーワードを入れていらっしゃるのに、みんなでというところが表現されていないところが気になっておりまして、みんなでというところを端的な言葉でこの3行の中に盛り込まれたらどうでしょうかという提案でした。

以上です。

【高野議長】

では、西山課長、お願いします。

【西山課長】

11ページのところの表現の問題については、今ご提案いただいた内容を踏まえまして、案に向けて検討させていただきたいと存じます。

めざすべき将来像につきましても、イコールになるほうが分かりやすいといったご意見も踏まえまし

て、案に向けて再検討させていただきたいと思います。

【花田委員】

少し違うかも。まあ、いいです、少し違うかなと思うんですけど。

【高野議長】

また双方の補足等がございましたら、後ほどのお時間に追加で質問していただいてもよろしいと思います。

担当部署におかれましては、よろしいでしょうか。

では、一旦進めますね。

ほかにご質問、ご意見等ございましたら、挙手にてお願いします。

前は骨子のご説明だったので、今回は少し冊子でたくさんページ数を割いて、具体的なビジョンの策定に向けて、今回、皆さんに将来ビジョン2030（素案）ということでご説明をしたということです。それについて、ここがもっと詳しく知りたいであるとか、今、ご質問、ご意見等がありましたように、このような文面にしたほうがいいのではないかという、どんなご意見でも構いませんし、また、これに沿ってでなくても、都島区のことについてのご質問等、今後の方向性等、いろんなこと、疑問に思っていられること等がございましたら、ここでご発言いただければと思います。

大きく分けますと、今回の議案の1は将来ビジョンについての質疑応答で、議題2につきましては、今まで質問等あるいは意見をいただいたことに対してフィードバック、このように進めていきたいと思っているという取組例についてのご紹介についてまた意見を交わしていただこうと思っておりますので、今回の場合は、この資料に基づいて、あるいは、都島区全体の将来のことでも構わないんですけども、自分たちが住んでいる地域でこのような問題がありますとか、こんなことをもっと進めてほしい、そういったことでも構わないと思いますので、資料をご覧になったり、今思いついたこと、何でもございましたら、構いませんので、挙手にてご発言いただければと思います。

では、菱池委員、マイクをお回しします。では、お願いいたします。

【菱池委員】

福祉コーディネーターの菱池です。

4の明日に誇れるまちの区の魅力創出の部分です。大阪市公式LINEアカウントの件です。これですけども、前からあまり触れていないのか、少ないと思うんですね。都島区11万人からしたら、2%ですか、そのぐらいしか登録されていないようです。もう一つの資料ですけど、区政会議の意見も踏まえた取組例に、同じ内容ですけども、令和6年12月の広報誌に出た案内、大阪市公式アカウントの出た分が載っておるんですけども、これを載せたほうがいいんじゃないかと思います。これについて、何回見ても分からないですね。

だから、私もアカウントに入ろうと思ひまして都島区の広報を探しても出てこなかったの、見たら、6年12月ということ。できるなら、毎回これ、広報に入れたほうがいいんじゃないかと思ひました。ついでに、私はこれに登録しましたので、1人増えたことになります。

【高野議長】

それでは、鹿倉課長、お答えいただきます。

【鹿倉課長】

政策企画担当課長、鹿倉です。

菱池さん、ご意見をありがとうございます。

今、資料2と資料1の両方にかかる質問をいただいているかと思ひます。

公式LINEアカウントの人数につきましては、資料1の23ページにもありますように、少しずつ増えておりまして、令和7年3月末現在で2,573人と書かせていただいております。

直近の数字でいきますと、令和7年8月末現在でいうと2,713人ということで、約5か月間で百数十人は増えているということで、少しずつ増えているということではあるんですが、菱池さんがおっしゃっていただいたように、区民全体ベースで見ると、まだまだ割合が少ないというご意見かと思ひます。おっしゃるとおりかと思っておりますので、引き続き、ここの数字については、登録者数を増やしていけるように取り組んでまいります。

ご意見、資料2のお話をいただいたかと思うんですが、資料2の裏面の経営課題4の右下のところのご指摘かと思ひます。広報みやこじま令和6年12月号で公式アカウントの友達の登録方法を記載させていただいております、確かに、広報誌でこういうのを載せた月は、毎月この数字を拾っているんですが、登録者数が増えているような状況でございます。

直近でいうと、令和7年7月号、2か月前の広報誌にも同じような記事を書かせていただいて周知を図っているところです。広報誌でお知らせする以外にも増やしていけるような手段というのは今後検討していきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いします。

以上です。

【高野議長】

今のご説明でよろしかったでしょうか。

【菱池委員】

だから、載っている量がほんの少しなので、見過ごしてしまいそうな。できたら、もっと大きく出してもらったら分かりやすい。

【高野議長】

バーコードが小さ過ぎるということですかね。見にくいと。

【菱池委員】

小さいですね。

【高野議長】

掲載スペースをもう少し大きくしてはどうかというご意見もありましたので、ご検討いただけると幸いです。

ほかにご意見、ご感想はございますか。

では、下影委員にマイクをお返しします。

【下影委員】

一般公募委員の下影です。1つ教えてください。

ビジョンとして掲げているものは納得、理解はできたんですけども、この施策を進めるのに、区役所の方々の努力はもちろん必要だと思うんですけど、恐らく、区民の参加があって多分成り立つことだと思うんです。そういう意味では、こういうビジョンを示して何をしていくかという上で、区民が入りやすい、参加しやすいような施策なりアクションというのは、このビジョンでいうとどういうところに出てくるんでしょうか。

【高野議長】

では、西山課長にお答えいただきます。

【西山課長】

ありがとうございます。

下影委員がおっしゃるとおり、区民の皆様の参加はもとより、地域あるいは企業等、あらゆるステークホルダーの皆様の参画があって成り立つようなものもありますので、我々が、文言としては書いてありませんが、それが都島区の持続可能なまちづくりを進めていくには必須条件ということになっていきますから、我々としては、行政としてビジョンを策定して、広報誌等々で区民の皆様、地域の皆様にお示しをして、より積極的にご意見等も頂戴しながら一緒に進めていきたい、進んでいくというところになっております。

【下影委員】

ありがとうございます。

ただ、区民が参加するためには、区民が区民として、我々も、区である活動みたいなのが、自分事として捉えるような形じゃないと多分駄目なのかなと思っています。

例えば、具体的にどんな例だというと、僕もこの区政会議に入るときに、なぜ区政会議に出ようと思ったかという、近くに交差点があって、私に7歳の娘がいて、小学校に通っているんです。近くに交差点があって、実は、何かすごい車がビュンビュン走る危険な交差点があって、それを何とかしたいと言

ったけど、じゃ、どうしたらいいのかと考えたときに、通常は、どうしていいかわからずに、もうやめちゃうというか、取りあえず放置してしまうようなことがあるんです。何かそれを行政なりどこかに届けば、できるんじゃないかと思って、その中の1つとして、この区政会議でそういうような意見が言えたら、それが伝わってくるのかなと思ったので、こういう区政会議の中に参加、公募として入ることができたのかなと思っています。

でも、それは多分そこに区民なりがアプローチするような仕組みもないと駄目ですし、ここで困っているというような意見を言える場所がないと、多分諦めちゃう。そういう人を、そういうような意見をできるだけすくってほしいなという意味で、自分事に考えて、やれること、そういうような仕組みなりがあると、みんなの意見が届くんだということを実感できて、その先に、それなら区民の活動に参加しようとなるんじゃないかなと私は思ったので、そういうような仕組みができるような形が少しあるとありがたいなと思っていました。

コメントです。以上です。

【高野議長】

ありがとうございました。

今のように直接お願いしたりとか、あるいは、今後、取組、考えておられるのがありましたら、区役所側からお答えいただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

では、西山課長、お願いします。

【西山課長】

ありがとうございます。

きっかけというのは大変大事なことだと思います。我々行政側としても、市民ニーズに対しましてきめ細かくお応えできるように、市民に一番近い区役所といたしましては、ニア・イズ・ベターというものを徹底しながら、地域の実情に即した特色ある施策を展開していくということですが、これをできるだけ各事業を推進していく際には、各事業担当課から区民の皆様あるいは地域の皆様に細かく落とし込んでいっていただいて、ご意見をいただいたりとか、ご協力をいただくというお願いをするということになってこようかと思いますので、その節には、どうぞよろしくお願いいたしたいと思います。

【高野議長】

ほかにご意見。

では、江川委員にマイクを回します。

【江川委員】

江川です。よろしくお願いします。

今回でもう区政会議を離れるので、5年後、またこの流れを見たいなと思ってお聞きするんですけど、

今、西山担当課長が特色あるというお話をしていたんですけど、ここに全部よくしようとして書いているんですけど、特に何に対しての特色があるのかが分からない。全てにおいて、よくなっていることはなっているんですけど、都島区は子どものためにやっているとか、防災をやっているとか、そういう何かこれがいいんだよというのがよく分からないです。特色というのはどのような特性が、ほかの24区と違うところは、どういうところを一番めざしているみたいな、どういうところがあるのか、教えてほしいなと思って質問しました。

【高野議長】

では、西山課長、お願いいたします。

【西山課長】

都島区の特性は、三方を川に囲まれているといったような地域特性でありますとか、そういった地域環境とかというのもございますし、北部、中部、京橋といったエリアごとの地域特性というのもありますので、そういった特色を十分に発揮できるようにしていくということでの意味合いということでございます。

【高野議長】

ほかにございますか。

なければ、また思いついたときに、この後、議題2の後にでも構いませんので、そのときにご質問、ご意見等をおっしゃっていただいてもいいかと思います。

それでは、議題2に移らせていただきます。

議題2、区政会議の意見を踏まえた取組例について、事務局から資料2に沿って説明をいただきます。お願いいたします。

【西山課長】

政策企画担当課長、西山でございます。

それでは、議題2、区政会議の意見を踏まえた取組例について、配付資料の2、区政会議の意見を踏まえた取組例によりご説明いたします。

現委員の皆様方におかれましては、第7期区政会議委員として2年間にわたりまして様々な観点からご意見、ご提言をいただき、都島区といたしましても、よりよい区政運営のため、ご意見等を踏まえた取組を行ってまいりました。その取組について、一部抜粋してご紹介をいたします。

経営課題1の安心・安全のまちづくりでは、防災リーダーの養成、防災訓練の取組、防災意識の向上などのご意見を頂戴いたしました。都島区といたしましては、人材確保や防災意識の低下などの課題があるとの認識の下、地域との連携や若い世代の参画に向けた取組を進めてまいりました。

経営課題2の人と人がつながり、助け合うまちづくりでは、町会加入率の低下などの課題についてご

意見を頂戴いたしました。都島区といたしましても、町会加入率の低下の課題は認識をしており、町会加入アクションプランの策定など、町会加入率の向上に向けた取組を進めますとともに、各種媒体を活用した情報発信に取り組んでまいりました。

経営課題3の明日に誇れるまちづくりでは、子どもへの支援のあり方などのご意見を頂戴いたしました。都島区といたしましては、学校内外での子どもを支える環境の充実が必要であるとの認識の下、みやこ塾の開講など、塾代助成事業を活用した学習機会の提供を行ってまいりました。

経営課題4の区役所力の強化では、区役所からの情報発信のあり方などのご意見を頂戴いたしました。都島区といたしましては、情報発信は市民生活の質の向上につながるため、SNS等を活用した情報発信の工夫を行うなどの取組を行ってまいりました。

今後も引き続き、各種の取組につきましては、継続または強化を図ってまいりたいと考えております。

説明は以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

【高野議長】

西山課長、ありがとうございました。

今ご説明にありました議題2について、ご報告いただいた内容について、ご質問、ご意見等をいただきたいと思います。

今日、参加されている委員の方々からのご意見、取り組んでいる内容もご紹介がありましたけれども、ここに載っていないくても、このような発言をした、あるいは提案をしたけれども、どうなっているかということでもいいかと思いますが、この議題2について、ご意見あるいはご質問等ございましたら挙手にお願いします。

では、谷副議長、お願いします。マイクを今お持ちします。

【谷副議長】

淀川地域の谷です。

経営課題1の安全・安心のまちづくりのことで、中学生とかも防災士のような取組を進めてほしいとかいう話で、取組内容の予定で、小学校、中学校で防災授業を実施とあるんですけども、うちの地域も決まったんですが、その授業、中学校と一緒にやるのが決まったんですけども、一緒に地域と中学校が防災の勉強をするのを以前は土曜日にやられていたんですね。それが今回、金曜日、平日になってしまった。平日というと、どうしても活発に活動している方たちは普通に仕事しているので、そちらに参加できないという意見が多く、まだ土曜日だったら、若いお父さん、お母さんも参加ができたのにと意見として聞いたので、そういう調整も含めてしていかないと、防災リーダーたちが高齢化しているという問題が解決していかないんじゃないかなというのはある。そこはなぜ今回平日になってしまったのか。これはうちの地域だけの話なんですけど、何で平日になってしまったのかなというのが疑問で、これだ

と、高齢の方しか平日には防災の勉強を中学生とするというのは参加できないんじゃないかなと思うのですが。疑問に思ったので、すみません、お願いします。

【高野議長】

では、中尾課長にお答えいただきます。

【中尾課長】

防災安全担当課長の中尾です。座ってご説明させていただきます。

まず、防災授業、今、谷委員からお話がありましたように、事例でいきますと、まさしく明日、淀川中学校で、金曜日なんですけども、午前中、9時から始まって11時半までということで、今まで土曜日だったんですが、それが金曜日に変わったということで、これも防災担当として、なかなかいかんともできない部分もあるんです。この中で、どうやって小学生、中学生の生徒さんに防災のことをお伝えできるかというところは、防災担当としても非常に悩んでいるところではございます。そうは言っても、形としては、先生と今いろいろと話をしながら、親御さんのご参加とか、地元の地域防災リーダーさんの参加が非常に厳しい中で、やりくりをして今運営と一緒に先生方とやっているところでございます。またその中で活路を見いだせるように、今いろいろと工夫をしている最中でございますので、どうか見守っていただければと思います。よろしく願いいたします。

【高野議長】

ありがとうございました。

ほかにご意見、ご質問はございますか。

これまで参加していただいて、様々な意見をいただきました。その意見について、このような取組をしている、このように反映させていきたいというのを資料2に書かせていただきました。これについて、自分の言った意見はこんなのですけども、これに載っていないでもいいんですけども、どうなっているのかであるとか、また、今取組中だということに関して、もっとこうしたほうがいいのかというようなご発言でも構わないかと思います。

あるいは、元に戻りまして、先ほど途中で切らせていただいたんですが、将来ビジョンの資料1について、思いついたことでも構わないと思います。

最初をお願いしておりましたけど、まだもう少し時間がありますけど、8時台に残り時間が少なくなっただけでしたら、2年ないし4年の任期の最終の会議でございますので、これまで参加されてきたご感想、ご意見等を最後に頂戴したいと思っております。そちらも留意していただいて、少し考えていただきたいと思います。

これまで参加させていただいた率直な感想としては、防災に対しての集まりをもっと多くしてほしい、あるいは、いろんな事業とかイベント、それから、そういう祭り事なんかの後継のこととか、そういう

たものを育成する必要が地域としても必要であるとか、あるいは、町会の加入率の低下というものを行政と一体となって進めていったほうがいいとか、減っているのが悩みであるとか、子育てに関しても、やはり都島区らしいご意見がたくさんあったように個人的には感じています。そういった中で、この会議の意見を踏まえた取組例をご紹介して資料をお渡ししておりますが、それについてのご意見等がございましたらお願いいたします。

では、岡本委員、お願いいたします。

【岡本委員】

私は生活基盤が商店街、家は城東区なんですけど、この区政会議で相談していいのかどうか、どっちかという警察関係になるような感じがしまして、あまり言えないんですけれども、やはり自転車の問題とか、それから泥酔客や風俗系の客引き、その辺の問題というのはどうしてもあります。商店街の中でも、真夏に酒を飲みながら寝ている人間というのが、これ、10年ぐらい、いろいろ人が替わって寝ているわけです。信じられないんですよ。しかし、これって、警察にそんなにしょっちゅう電話もできないですし、ましてや区役所の問題でもないでしょうし、商店街で片づけるしかない。そんなに暴れるわけではないんですけれども、そういう事態というのはしょっちゅうあるんです。なかなか区役所で言うべき問題ではないかなとも思いますので、その辺のところがうまく理解できない。

【高野議長】

今、ご意見、ご質問等がございましたが、そういった風紀に関することとか、先ほど議題1のときでも、危険な運転が目立つ箇所があるので、そういった区域に対してどうにかならないかというような意見、直接的に反映させてほしいといった意見もあったんですけども、そういった議案に対して、あるいは警察と連携するような事案に対しても、行政としてはどのように取り組んでおられるか、あるいは将来的にどのように取り組まれるのかというようなご意見がありましたら今お願いいたします。

では、中尾課長、お願いします。

【中尾課長】

防災安全担当課長の中尾です。座って説明させていただきます。

岡本委員のご意見でございますが、まずは、犯罪事案ということであれば、これはすぐに警察に通報をしていただければと思います。

特に、安心して、また安全に通行できる空間をつくっていくというところでは、区役所としましても、警察と、また、岡本委員がおっしゃる商店街の方々も一緒に取組を進めているところでございます。

さらに、よりきれいなまちにしていこうという意味で、環境美化の観点とかでも、ごみを拾っていったりとか、また、たばこのポイ捨てのマナーの向上というような、地味な部分ではあるのですが、そこを続けていくことが今の行政の1つの役割とは考えております。

そこから、また区民の皆様と協働しながら啓発活動を続けていくことで、一人でも多くマナーを向上していければいいのかなと、考えております。どうかよろしくお願いいたします。

【高野議長】

ありがとうございました。

ご質問等はございませんか。

【花田委員】

岡本委員がおっしゃったその方というのは、ホームレスの方ですか。

【岡本委員】

ホームレスではない。夕方になったらおらんようになります。帰るところはあると思います。

【花田委員】

そうですか。実は、お聞きをしております、私、別の区で旭区にいましたときに、区役所の近く、道路と歩道の間にいつも寝ていらっしゃるおじちゃんがいまして。

【岡本委員】

それは、家ないんちゃいますか。

【花田委員】

それは危険だったので、警察にも動いていただいて、最終的には、市の生活保護の関係とかで区役所の市民協働の関係と警察とが三位一体になって、施設に入所をしてもらいました。

【岡本委員】

しかし、今話を聞いていると、分かりやすいですわね、その方は結構。

【花田委員】

はい、そうですね。

【岡本委員】

うちにいるのは、分かりにくいんですわ。何者かというのが分からないんです。そうかといって、前に自動販売機のビールがあるわけですよ。いつでもそこで飲んでいるわけです。

【花田委員】

地域に住んでいらっしゃるのかもしれないですね。

【岡本委員】

それは、後をつけていったら分かるかも分かんですけどね。

【花田委員】

なかなか難しいですね。

【岡本委員】

難しい。

【花田委員】

多分、警察さん、例えば暴れたりしない限りは。

【岡本委員】

警察はたまに呼びます。警察に言うと、何かあれば呼んでくれと。別に何もないんですわ。ただ、わあわあという。それと、雨が降るとアーケードのあるほうへ入ってくる。それが五、六人になるときもあるし。

【花田委員】

そんなにいらっしゃるんですか。

【岡本委員】

仲間がいますね。そういうふうなのが入れ替わり立ち替わりで、10年ぐらいはそういう形になっているんです。アーケードの中へ入ってきたら、どこかの店の前ですよ。その店の人間にも電話はするんですけど、なかなか対処のしようがない。

【花田委員】

確かに、区役所も関わりにくいですわね、そういう案件だと。

【岡本委員】

区役所へは言えないですよ。

【花田委員】

そうですね。関わりにくいと思います。

【岡本委員】

警察へ言うてくれとは言っていますけど。警察に相手になってもらうのがうれしいのかも分からんですわね。感じとしては、そういう感じですね。

【花田委員】

そうかもしれないですね。寂しい方なのかもしれない。

【岡本委員】

寂しい方ですよ。

【花田委員】

すみませんでした。

【岡本委員】

しかし、ほっとけないんでね。たばこの吸い殻だらけですわね。

【花田委員】

それはお困りですわね。

【岡本委員】

いや、困ってないですけど、それは。

【花田委員】

そうですか。

【岡本委員】

とにかく汚い。

【花田委員】

それは、何か取り締まれるんじゃないかなかったですっけ。商店街は道路じゃないから違うのか。区役所じゃなくて環境局ではできないのか。

【岡本委員】

それは、見てもらったら分かります。すごいたばこの量です。たばこを吸うたらあかんなんて、考えられないですよ。

【花田委員】

今、何か公共空間は禁煙になっていますよね。

【岡本委員】

そんな話、通用しない。

【花田委員】

分かりました。すみませんでした。ご苦労が絶えませんね。

【岡本委員】

いえ、別にそれほどではないですけど。昔から思うとましにはなりました。

【高野議長】

では、進めたいと思います。

それでは、少し早いんですけども、一言ずつご感想を先に言っていただいて、その間に、またご質問等、何か疑問点がありましたら、その間に挟んでいただいてもいいので、順にマイクをお渡ししていこうと思います。

では、こちら側からお願いいたします。西委員から、これまで携わってこられたご感想とか、あるいはご意見でも構わないんですけども、一言あれば、長くてもいいので、おっしゃっていただきたいと思っています。

【西委員】

中野の西です。

今回、初めてこの区政会議に出てくれないかと言われて、私が出て何ができるかとか、私が行くようなところなのかなと思っていたんですけど、いざ実際に来てみたら、いろんな地域の、意外と中野地域って、下の方というか、淀川とか、そっちの上の方のことがあまり分からなかったんですけど、いろんな話も聞けたり、また、役所の方がいろんなどういう取組をしているのかというのがすごく分かって、個人的にすごく勉強になりました。この先も、また次の任期もさせていただくので、またよろしく願います。

【高野議長】

ありがとうございました。

次の2年も西委員には引き続きご協力いただくということを聞いております。

では、お隣、浦出委員、お願いします。

【浦出委員】

高倉地区の浦出です。いつもありがとうございます。

私も初めて区政会議に参加させていただいて、何もできず申し訳ない限りですが、また2年続けさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

また、先日、私も何もお話もできませんし、本当に地域で起こったことのようなことしかお話しできませんと、この間お話を聞いていただいていたいましたら、それでいいですよと言っていたきましたので、近況報告をさせていただきたいと思ひまして、まとめてきたんですけど。

地域活動においての近況活動といたしまして、7、8月には地域の夏祭りや盆踊り、また9月には防災訓練、国勢調査の説明会をさせていただいたり、また、子ども会行事におきましては、都島区の子ども会、ソフトボール大会を行わせていただきました。

そのたびに、区長様やまた副区長様はじめ、議員の皆様や区役所の職員の皆様には土日や昼夜を問わずご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

また、これらの行事におきまして、細やかな資料作成や、また現場での激励に来ていただいたりとか、今まで本当に見えていなかった多くのことが、また、この区政会議に参加させていただいたことで、当たり前前に思っていたことが本当にそうじゃない、本当に細やかな作業を皆様、区役所の皆様にしていただいているんだなというのを、この区政会議に参加させていただいたからこそ、とても感じることでございまして、本当にありがたいなと思っております。

また、行事をいろいろと継続していただいているおかげで、私たちの子どもたちの世代が今度は家族を持つようになりまして、子ども会行事などにも親子で参加してくれるようになってまいりました。さらに、またその子ども会の関係から、若いお父さんやお母さんが防災訓練にスタッフとして参加していただけるようにもなってまいりました。今度は若い世代につなげようと連合会長様、役員様が考えてく

ださって、若いスタッフを育てようという取組も今回していただいたりしております。そういうことやいろんなことにおきまして、本当に都島区の皆様が、これからの時代につないでいこう、2030年に向けてつないでいこうという温かい思いが、いろんな行事を行っていただいているおかげでつながっているんだと本当に心から思っております。

また、これからも引き続きお世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

【高野議長】

ありがとうございました。

では、続いてマイクをお渡ししますが、谷副議長は後ほどお話しいただくということで、江川委員にお話しいただきたいと思います。マイクを今お持ちします。

【江川委員】

江川です。

私は、3期、4期、5期が空けて、6期、7期で、今4回目なんですけど、多分次も空けるので、多分これが最後になると思うんですけど、区の将来ビジョン2030がどうなっていくのか、またこれからも見ていこうと思います。

それで、今回ずっとやっていて、自分が慣れてきたせいなのかもしれないんですけど、それと、あと、今回、火曜日が多くて、火曜日はもう出られないので、出席率が悪くて、経過が分かっているのかもしれないんですけど、いつも、この2年間で何かがあったというのがあるんです。今回、それが、こういうのをやったというのが何も見えなかったの、また何かそういうのが、今回の2期では、こういうイベントができたとか、何かそういうのを形にしてつくっていったら、区政会議を自分らがやった感が出ると思うので、そういうのをつくっていけるような部会にしたほうがいいとは思いました。

以上です。ありがとうございました。

【高野議長】

隣、では、花田委員にマイクをお渡しします。

【花田委員】

公募委員の花田です。

この2年間といいますか、就任のときに、行政の立場も経験していることから、行政と区民の方々とのかけ橋みたいな立ち位置で参加できたらいいな、お役に立ちたいと申し上げたと思うんですけども、結果として、思うほど役に立てなかったなというところが非常に残念で申し訳なく思っています。

以上です。

【高野議長】

お隣、下影委員、お願いします。

【下影委員】

一般公募委員の下影です。

2年間ですけれども、ありがとうございました。

入った経緯は先ほどお話ししたと思いますので、一応、自分なりに自分事として捉えて入ってきたつもりだったんですけども、通常は多分、ある程度、行政に対しての興味というか、区の私なりの興味というのが少し上がってきたというのもあって、ここに入ってきたわけなんです。そういう意味では、見え方が少し、区役所の人たちがどういうふうな活動をしているのか。実際に今、都島区に引っ越してきて10年になるんですけども、その中で、それこそ来たときには、ほとんどそういうものに興味もなければ、それに触れることもなかったと思うんです。こういうきっかけを通して、区役所の皆さんがどういう活動をしているのか、ましてや、土曜日、日曜日、お祭りで参加して、いろんな防災グッズを配ったりとかということを実際されているというのを見るような機会というのも増えまして、そういう意味では、非常にありがたい存在だなと思っています。

区役所の皆様は多分いろんなことで区がよくなるように活動してくれていると思うので、むしろ、自分たち、区民が今度はそれに対してコミュニケーションを取って、興味を持って接することができるというのが、今後の5年間で上がっていくような形になってくれるといいなと思いつつ、あと、これからも区の将来を見つめていければなと思っています。

2年間ありがとうございました。以上です。

【高野議長】

お隣、屋宮委員、お願いします。

【屋宮委員】

ありがとうございます。

私は全然こういうことには興味もなく、関わることもなく、区役所に何かの事務に来るだけの人だったので、これ、一応無作為抽出でかかって、来ることになったんですけども、いろいろ区役所ってこんなことをやっているんだと勉強になりましたので、これを機に、いろいろ区役所ってこういうことをやっているんだなということをもっともっと学んでいけたらいいなと思っております。

以上です。ありがとうございました。

【高野議長】

では、隣、岡本委員、お願いします。

【岡本委員】

私もこういう会議というのは初めてなんですけど、小学校の1年生になるときに京橋に来ました。今

から70年前でございます。あの商店街ですっと生活してきました。本当によくなりました。むちゃくちゃな商店街だったと思いますけれども、区役所の皆さん、いろいろと助けていただいて、本当にこれからもいい商店街になっていくことを願っております。

【高野議長】

菱池委員、お願いします。

【菱池委員】

私が来たのは40年ほど前、結婚して、都島に大規模住宅ができるということで来たんですけれども、それから40年たちます。ずっと思っているのは、都島区はいいところだと思います。梅田にも近いし、三方が川に囲まれて、もう一つ、東側に行けば鶴見緑地がありますので、あそこまで自転車で行けて、子どもなんかと小さいときはよく都島区内をぐるぐる回っていました。それぐらいいいところだと思っていました。

ただ、子どもが小さいときはよかったんですけども、子どもが大きくなると、地域全体が一度に入っていますので同じように高齢化してきて、高齢の問題がいっぱい出てきて、さらに町会員が少なくなりました。私は、町会長からコーディネーターになったんですけども、やはり高齢者の問題、どうしても避けて通れないと思うんですけど、何とかできるだけ本当に高齢者としては外へ出てきてもらいたいと、そんなふうに思っておるんですが、なかなか難しい。区政会議も同じようにそういう問題がいっぱいあって、来て初めて分かるようなことでした。いい経験をさせてもらいました。

もう一つ、都島区はいいところだと思って、そこはまたよくしようと努力、本当に感心いたしますので、ありがとうございました。

【高野議長】

ありがとうございました。

では、谷副議長、お願いします。

【谷副議長】

淀川の谷です。

4年間、区政委員をさせていただいたんですけども、区政会議のときに出た案件というのは、そのときに必ず通るものではなく、私が入って思ったのは、前回されていた区政委員の方の意見が通ったのが学習ひろばですよ。あれがやっと今活発に動いてきて、皆さんの区政会議でお話しされたことが今ようやく芽が出てきた形になってきているんだなというのはすごく実感しています。今すぐに行動が目に見えなくても、後々にだんだん芽が出て花が咲いていくのが区政会議なんだなというのをこの4年間で実感させてもらいました。

確かに、高齢化問題で町会加入とかというのもすごく問題になっていますが、区役所の方々には、本

当にいつもご協力いただいて助けていただいています。地域で、まずお隣の方、同じ町会の方、同じ地域の方が協力し合って自分の地域を盛り上げていかないと、この都島区に住みたいと思う方が増えていかないので、まずはお隣の方から、大丈夫、元気という声かけから、今日も暑いねとか、体調はどうというところから始めていただいたら、どんどんどん地域の輪も広がって、いろんな方が活動に入って手助けしていただけるんじゃないかなと思います。

ほとんどお役にも立てなかった、お力にもなれなかったので申し訳なかったんですけども、高野議長には本当に助けていただいて、ありがとうございました。区役所の方々も、区長はじめ皆さん本当にありがとうございました。また遠くから区政会議を見守っていきますので、これからもよい都島区をよろしく願いいたします。

【高野議長】

一言ずつご挨拶いただき、ありがとうございました。

前後しますけども、今のご意見、ご挨拶の間に、どうしても聞いておきたいことやご質問、ご意見等がございましたら、まだお時間はございますので、この場でお聞きしたいと思いますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、私からご挨拶させていただきます。

4年間、早いようで、長いような気もしました。最初にお受けしたときに、どんな会議で、どんな司会をすればいいのか、全く実情が見えませんでしたので、ある意味仕事よりも怖かったです。実際にやってみて、難しいなと思うことがありましたけども、逆に、地域の方々がこんなことをやっているんだ、自分が全然貢献を都島区にしてこなかったということとか、取組を知らなかったことに逆に驚くとともに、もっと貢献すればよかったかなと思いました。

そういう意味で、ちゃんとできたかどうか分からないんですけども、少しでも自分のやってきた仕事のスキルを、区政会議の、多分区のことは私は皆さんの中で一番分からないんですけども、多分進行したりそういったこととかに関しては、少しはお役に立てたらよかったかなと、できたかどうか分からないんですけども、それだけよかったかなと思っております。

あと、すごくいろんな機械とか日進月歩で進んでいますけど、全くついていけないんですね。昔だったら、故障したりとか何か不具合があると、うちの母もよく言っていたんですけど、聞いたほうが早いわと言って、すぐ電話して聞くんですよ。私もその子どもなので、聞いたほうが早いので電話をかけたいんですけど、電話させてくれないようなものがあります。パソコンとかほとんど、ウィンドウズに関するものは電話で取り合ってもらえないので、突然OSが動かなくなったとか、何かサブスクがどうか言われても分からないんですが、電話をすることすらできない、聞いたほうが早いもできないのが本当に困ってしまうんです。そんな中でも、まだ電話で、そんなことも分からないのかということでも電

話で応対してくれるような電化製品だったり、そういったがあるので、そういったことがあるうちは、まだいいな、自分も生きやすいなと思うんですけども、こういう会議も簡素化することもできるだろうし、皆さんお忙しい中つくるのは大変だと思うんですが、顔を見てじゃないと言えないこととか、逆に、顔が見えないから辛辣なことを言ったり人を傷つけたりするようなものが最近はびこっていますけども、そういった中で、顔を見て、相手のことも慮りながらやるからこそ意見が反映されて、そういった切実なご意見であれば、真摯に行政も受け止めて前に進めていこうということで、こうやって綿々とながってきたと思うんですね。

皆さん、都島区の特に長く私よりもずっと住まれている方が多いと思うんですけども、自分たちが住んでいる都島区を誇りに思っている、いい区だと思っているというのは感じました。それは行政の方がそうやってこられたのもあるんですけども、市民の方あるいは地域の取り組んでいる方が一緒になってやってきて、自分たちでできることをされてきて、昔、商店街があんなだったのによくなったというのは、そういった皆さんの努力だと思います。

そういった人の顔が見えるところでやってきたからこそ今があると思うので、こういった区政会議のように、お互いに時間を繰り合わせて、顔を合わせてやっていくような、そういう会議が続けていけばいいと思いますし、そういった形と、そして反映させていただくような取組が、この2年間はそんなに進まなくても、その次の継続して2年が都島区のためになるような会議であれば、こうやって集まっていたくのは無駄じゃないと思いますので、こういった取組を今後もぜひ進めていっていただきたいと切に思います。

本当にお役に立てなかった4年間かもしれませんが、次の方、もっとうまく議事進行していただけたと思いますし、また、残っていただく4人の方々におかれましては、2年間参加していただいたことを次の新しい委員の方にまたつないでいっていただいて、よりよい区政会議、都島区が栄えある未来になるということを願っております。

至らない議長でしたけれども、退任させていただきます。4年間どうもありがとうございました。

では、続きまして、藤岡区長からご挨拶をいただきます。お願いいたします。

【藤岡区長】

長時間にわたりありがとうございました。そして、先ほどからもお話がございました、改選前の最後の会議ということで、議長をはじめ委員の皆様には、様々な関連なご意見を頂戴しまして誠にありがとうございました。お一人お一人に心から感謝をさせていただきたいと思います。ご発言を真摯に受け止めて、次に向けてという思いを新たにさせていただくようなお声がけばかりだったと思います。

新しい区政の基本理念ということで、「みんなで未来をひらくまち」ということでキャッチフレーズを打たせていただきました。これは、まさに皆さんがお話しいただいた、都島区のすばらしいところと

いうことを表現した言葉だと思っています。それを次につなげていく思いを込めて、「みんなで未来をひらく」という言葉を選ばせていただいた次第です。

先ほど、江川委員から、都島区の区政の特徴というお話があったかと思うんですが、都島区は本当に地域資源が素晴らしい。そして、私、何よりもお一人お一人あるいは企業それぞれで、さまざまにまちの課題解決に取り組んでいただいていることに、本当にすばらしいまちだなと感じながら区政を進めてきております。

商店街の岡本委員の、いつも安全なまちづくり連絡協議会で、まちの安全を守るための取組をさまざまにいただいていることですか、あるいは、企業のご連携の中で、子どもたちに対する、あるいは高齢者に対する施策を、市の全体方針というものはありますけれども、そういった地域の皆様のできることをつないでいくということでさまざまにご活動いただいて都島区はあるんだなどの思いを込めて、区役所はそれをつないでいながら、できるだけ区民の皆様にそれに接していただくような機会をつくる。それをまた新たな目標に向けて改善していくという思いも込めて、次のビジョンも含めて取組を進めていきたいと、今日改めてそのように感じさせていただいた次第でございます。

引き続きご参加いただく委員の皆様、本当にこれからもよろしく願いいたしたいと思いますし、今回、本当にお忙しい中、続けてご参加いただきまして貴重なご意見をいただきました委員の皆様には、改めて心から感謝申し上げたいと思います。引き続き区政に関わっていただく機会もたくさんあるかと思しますので、引き続き、ご指導、ご鞭撻をどうぞよろしくお願いいたします。本当にありがとうございます。

【高野議長】

ありがとうございました。

すみません、議事進行が前後してしまいまして、先に議員の皆様コメントを頂戴するところだったんですけども、大西議員、荒木議員にコメントを頂戴したいと思います。大西議員、荒木議員、申し訳ありませんでした。今から、市議会議員の大西議員、荒木議員にお一言ずつコメントを頂戴したいと思います。お願いします。

【大西議員】

皆さん、いつも区政会議にこうやって参加していただいて、活発な意見をいただいてありがとうございます。もう会期末ということで、残られる方もいらっしゃると思いますが、議長ないし副議長、そして委員の皆様には本当にありがとうございます。活発な意見、本当にありがとうございました。

僕からは、短いお話でありますけれども、やはり都島区、僕も住んで7年目になるんですけども、この7年の間で変わったと思います。僕も仕事柄、近所というか事務所の周りをうろうろうろうろする仕事でございますので、うろうろしていく中で、新しい家もすごく建っているんです。いろいろ営業にやっ

ている方もいっぱいいらっしゃいますし、いろんな戸建てとマンションの融合という形で都島区はすごく成り立っているのんちゃうかなと僕は住んでいて思っているんです。先ほども岡本委員からも、京橋の活性化、これも僕らは東部地区の開発というのをやっていますので、これから万博が終わって、それからインバウンドをどれだけいこうかという形でやっていますし、コムズガーデン、新しいところも大盛況だということで、スーパーとかも結構にぎわっているということで、京橋には地下鉄もあるよというのが分かってきたと思うので、まちづくりの開発だとか、いろいろなダイエー通りのところ、イオンがあったところなんですけど、あそこもマンションがどんどん建ってくるということで、人口の増加というのも、すごく多分流入が激しいと思います。これからもまた、皆さんは住んでいる方なので、こうやって細かい意見というのがすごく多分大切に、こうやって区政に反映すると思いますので、また2年間よろしく願いを申し上げて、私からの挨拶と申します。ありがとうございます。

【高野議長】

それでは、荒木議員、お願いします。

【荒木議員】

委員の皆様、本当に長い間お疲れさまでございます。2年間あるいは4年間ということで、この間、この区政会議の委員としてご尽力賜りました皆様には、本当に心から感謝とお礼を申し上げたいと考えております。また連日、区役所の職員の皆様もいろいろとご苦勞をおかけしているかなと思いますが、感謝申し上げます。

今、この区政会議のいろんな議論を聞いておまして、少し思ったことがございますので、この場で、お話ししておきたいなと考えたんですが、行政の側からすると、地域というのは非常に近い組織といいますか、日頃から地域振興会なり地活協、あるいは民生委員の皆様方、地域の皆様とよく交流がありますので、行政側から見ると地域というのは非常に近い距離感で考えるのですが、反対に地域の皆様とすると、やはり役所というハードルというか壁は非常に高いといいますか、敷居は高いなと考えております。

なかなか機会がなければ、この都島区民、10万以上いらっしゃいますが、この区役所に来たことがあるという方、全体としては本当に僅かだと考えております。区政会議ということでこういう場にお越しいただいている皆さんにとって、区役所というのは非常に身近なものに感じていただいて、そして、そのようにお考えいただいて、これからも行政、お付き合いといいますか、連携を取って地域のまちづくりにご尽力いただけたらと思うのですが、それ以外の皆さんにとっては、やはり役所というのは非常に、距離的というよりも、バリアじゃないんですが、精神的にやはりかなり距離感があるのかなと考えております。

そのためにも、やはり地域の皆様の声を聞く、様々な細かいご相談事であったり、ご要望であったり、

そういうシステムをしっかりとつくっていくべきだと考えております。役所は今、1階に広聴ということとさまざまなご意見を聞くシステムがありますし、大阪市にも市民の声というシステムがあるんですけども、なかなかそういう声を届けるというのがやはり非常に手間であったり、難しいこととお考えになっているようなところが多々見受けられます。

我々の事務所にいろいろご相談なんかもあるわけですが、役所というのは我々の事務所よりもまだハードルが高いと感じているんです。

こういう機会でご委員になっていただいた皆様にとったら、非常に自分たちにとっても役に立つ、あるいは身近な組織だとお考えいただけるんでしょうけれども、できるだけ地域の皆様からのさまざまな声を酌み上げていただくような組織というか、そういう活動をこれからもお願いしていきたいと考えております。

それで、1点だけなのですが、この新しいビジョンの一番最後に区民サービスの向上ということで、少しいわゆる広聴機能を記載いただいているのかなと思っているのですが、もっといわゆる広聴機能といえますか、地域の皆様の声を聞いて、さまざまなご相談事があると思います。本来的に、大阪市、区役所に相談すべきことじゃないかもしれませんが、地域の人にとったら、どこへ相談したらいいかわからないから相談してこられますので、それが警察の案件、あるいは消防の案件、区役所以上にハードルは高いんだと考えますので、そういう声、あるいは意見を酌み上げるような形のこれからの区政運営、そして、このビジョンにもそういう思いを持って、少しご記載といえますか、行政的にいうと、多分一番最後に書かれているんだと思うんです。区民が抱えるさまざまな課題に対する身近な総合行政の窓口として、区役所機能・窓口サービスの充実を図りますということです。役所側からは、これがそういうことですよという答えになると思うのですが、地域の人から見たら、これでもって役所に何でも相談に行けるかなという、多分そういう感覚の方は本当に少ないと思います。そういう趣旨、そういう思いでもって、これからもこのビジョン2030、お考えいただくのであれば、そういう思いを酌んでいただくような表現を組み入れていただけたらありがたいなと思っています。

改めまして、区政委員の皆様方、この2年間、そしてまた4年間、いろいろお世話になり、いろいろとお知恵なり、一緒に区政運営を進めていただくことに対して、心から感謝とお礼を申し上げましてご挨拶とさせていただきます。どうもご苦労さまでした。ありがとうございました。

【高野議長】

お忙しい中、大西議員、荒木議員、ご出席いただきましてありがとうございます。

これで、本日予定しておりました議題につきましては終了しました。皆様のご協力により、議事が円滑に進みましたことをお礼申し上げます。

それでは、司会進行を事務局にお返しします。

【三井課長】

ありがとうございました。

本日は、議長、副議長をはじめまして各委員の皆様方におかれましては、長時間ご議論いただきまして誠にありがとうございました。

以上をもちまして、令和7年度第2回都島区区政会議を閉会させていただきます。

また、再度のご案内になりますけれども、区政会議に関するアンケートにつきまして、出口で回収させていただきますので、よろしくお願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。

以 上